

資料16 移設車両の概要(写真)

■ 外観



■内観





### 別大電車のあゆみ

昭和22年	別府大分間鉄道職員を元大分県一等部平塚 治氏が計画	昭和24年7月1日	別府大分電鉄株式会社設立、九州電力電気株式会社より電線事業を分離移譲。
昭和29年8月5日	豊前電気鉄道株式会社を資本金10万円で作成。 (大分交通の前身会社) 初代社長に有馬素治氏が就任する。	昭和49年5月1日	別府線第一線川太止む北浜—別府駅前を延伸完了。営業を始める。
昭和33年5月10日	甲子に2線目九折に計画として、別府守吉町(現北) — 大分市南郷(坂川車庫)間7.7キロの営業を始める。	昭和49年7月	坂川車庫を別府車庫に移転する。
昭和35年4月5日	大分市南郷(坂川車庫) — 大分市南郷地(竹町入口) 延伸線延長し、営業を始める。	昭和59年12月1日	境川 — 豊前線延伸線延長し、営業を始める。
昭和37年1月4日	豊前電気鉄道株式会社を設立し、豊前電気鉄道株式会社を継承する。	昭和79年3月3日	豊前線 — 豊前線延伸線延長し、営業を始める。
大正5年4月1日	九州電力電気株式会社を設立し、豊前電気鉄道株式会社を合併する。	昭和20年4月20日	別府大分電鉄株式会社を母体として、別府大分間鉄道、八丁金井が合併し、大分交通株式会社として発足する。
大正6年7月7日	大分市南郷地(竹町入口) — 大分市南郷(外堀交差点) 延伸線延長し、営業を始める。	昭和47年4月5日	別府大分間鉄道が別府大分間鉄道から分離して、大分 — 豊前線16キロの軌道延伸延長し、72年間の歴史の歩みを終え、バス事業を中心とする新しい交通輸送の時代を迎える。
大正8年2月24日	大分市南郷(外堀交差点) — 大分市南郷(大分駅前) 延伸線延長し、営業を始める。	昭和47年6月16日	別大電車車両を大分市に2両、別府市に1両を譲渡。
大正10年4月1日	大分市南郷(大分駅前) — 大分市南郷(新川) 延伸線延長し、営業を始める。	平成8年11月5日	大分市南郷に展示していた、電車形改良機、現在地に展示する。
大正11年3月7日	大分市南郷(新川) — 大分市南郷(かんたん) の新路線に軌道を敷設し、営業を始める。		
大正11年11月25日	志保町(魚崎) から海津線に新設された、国道上に軌道を移設し、同時に別府北町(別府北町) 延伸線延長し、営業を始める。		

大分交通株式会社

■諸元等(銘板)

